

館林市第七次行政改革大綱推進計画

令和2年3月

館林市

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ① 公民連携の推進

111

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	公民連携の推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>公民連携の代表的な手法として、指定管理者制度やPFIがあるが、2019年4月1日現在、本市の施設で指定管理者制度が導入されている施設は3施設、PFIについては1施設となっている。</p> <p>職員数が限られた中で多様化・複雑化する市民ニーズに対応するためには、「民間資本・ノウハウを活用し、サービスの向上・効率化を図る」公民連携の推進は必要不可欠なものである。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>・公民連携による公共サービスの提供を検討する等、公民連携を広い範囲で捉え、その手法や活用方法について他市の事例や動向を参考にしながら調査研究を行う。</p> <p>・調査研究の結果、具体的な活用が可能なものについては、関係課と連携して活用を進める。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ①公民連携の推進

112

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
こども福祉課	公立保育園の認定こども園化及び民営化の推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>核家族化の進行や女性の社会進出の増加により、少子化でありながら多種多様な保育の需要は高い水準が続いており、待機児童が発生している。</p> <p>現在、市内には、公立保育園9園、私立保育園5園、私立認定こども園2園、公立幼稚園5園、私立幼稚園1園あるが、公立保育園の待機児童と公立幼稚園の小規模化を解消するためには、適正な規模での教育・保育施設への再編が必要と考える。</p> <p>また、三位一体改革の時より、保育園の運営にかかる経費の一般財源化や施設整備費の削減により市の財政負担は大きく、更に令和元年10月1日より幼児教育保育の無償化がスタートしたことで、より一層の厳しい財政状況になっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>就学前の教育・保育のあり方を検討、方針を策定する。</p> <p>更に、安心安全な子育てができる環境にするため、幼保一体化や民営化を進めていく。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	完了	準備	実施	—

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ①公民連携の推進

113

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
学校教育課	公立幼稚園の認定こども園化

2. 計画の概要

現状と課題
公立幼稚園で利用者数が年々減少し、各園で定員を大きく割る状況となっている。 ・北幼稚園 利用者97名/利用定員180名 53.9% ・南幼稚園 利用者60名/利用定員160名 37.5% ・東幼稚園 利用者23名/利用定員 80名 28.8% ・杉並幼稚園 利用者59名/利用定員160名 36.9% ・西幼稚園 利用者64名/利用定員160名 40.0% ※令和元年11月現在
計画の内容と目指す姿
保育機能を持たせた認定こども園とすることで、待機児童の解消、働く世帯の子育て支援、適切な保育と教育の提供を行い、子育て環境のさらなる充実に資する。 認定こども園のタイプや対象園については、関係する部署と検討を加えていく。 ※令和3年度に「就学前の教育・保育のあり方方針」策定完了

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	完了	準備	実施	—

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ① 公民連携の推進

114

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
下水道課	管路施設の予防保全に向けた包括的民間委託

2. 計画の概要

現状と課題
<p>・本市における下水道施設において、老朽化施設の急増による機能への影響とその対策が懸念されている中、下水道管路施設においては、老朽化に起因する道路陥没が発生しており、その対策についても急務となっている。</p> <p>・現在、予防保全型の維持管理を実施するためにストックマネジメント計画を策定しているが、事業を推進するために必要なノウハウのある人員及びこれまで以上に必要となる財源の確保が課題となっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>・これまで個別に委託していた管理業務をまとめて複数年契約により発注し、スケールメリット等によるコスト及び事務量の縮減を図る。</p> <p>・民間の創意工夫及びノウハウを活用し、業務の効率化を図ることで、管理業務にあたっていた人員を固有事務(事業計画策定、接続促進及び料金徴収等)に重点配置する。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	準備	実施	準備	実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施(継続実施)した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

121

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課	公共施設等マネジメントの推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>現下の厳しい財政状況の中、公共施設等の老朽化対策は大きな課題であり、これからの公共施設等の維持管理は、「新しく造ること」から「賢く使うこと」へ方向を変えていく必要がある。そのため本市では、平成29年2月に「館林市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の整備や維持管理の方向性を定めた。</p> <p>現在、公共施設等マネジメント推進庁内委員会を設立し、より具体的な公共施設の管理方針を定める個別施設計画の策定に着手している。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>館林市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画にもとづき、予防保全による無駄のない施設管理と変化する市民ニーズに応える質の高い行政サービスを提供できる施設運営を推進する。</p> <p>また、立地適正化計画や都市計画マスタープラン等の各種計画と連動した施設の再配置を計画し、コンパクトシティの実現による持続可能なまちづくりを目指す。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
準備	実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

122

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
地球環境課	市有施設におけるエネルギー使用量の削減

2. 計画の概要

現状と課題
市有施設におけるエネルギー使用量を削減し、温室効果ガス排出量の削減、及び維持管理経費の削減を図るため、現在館林市環境マネジメントシステムの省エネルギー標準手順書により、組織及び全職員の取り組むべき対策が定められているものの、一層の削減のための更なる取り組みが必要である。
計画の内容と目指す姿
「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」(省エネ法)に定められた、年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減を達成するため、市有施設におけるエネルギー管理標準の作成及び運用改善を推進する。 また、市有施設の設備機器を更新する際に、省エネ・低炭素型機器(LED照明等)の導入を推進する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

123

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
地球環境課	ごみの減量化

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市のごみ処理費用は、広域処理施設の建設費を含め、年間約10億円規模で推移してきているが、減量化による処理費用の抑制が必要となっている。</p> <p>また、ごみステーションに排出される家庭ごみは、直接的な費用負担を伴わないため、安易なごみの排出になりやすく、減量化が進みづらい状況にある。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>従前からの3Rの普及啓発や助成事業といった取組に加え、生ごみ減量化として、食品ロス削減の取組のさらなる拡充を図っていく。</p> <p>また、ごみ処理費用の分析・評価を行い、ごみ袋の有料化等の排出量に応じた費用負担の仕組みを導入することで、住民の意識改革を促し、循環型社会の構築及びごみ処理費用の抑制を図る。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	準備	準備	完了	実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

124

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
緑のまち推進課	公園樹木の再配置・再生計画の検討と実施

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市の公園は、昭和40年代以降急速に整備されました。当時植栽された樹木が40年以上経過して大きく成長し、巨木化しています。また、公園をとりまく社会状況の変化、市民要望の多様化などから、特に住宅地に設置された身近な公園において様々な問題が発生しております。落下枝や花粉・綿毛・落ち葉の飛散、病害虫・鳥の糞、枝葉の越境や日照障害、根の侵入による施設破損等に対し、近隣住民から苦情や剪定・伐採要望が多く寄せられているところです。そのため、第六次行政改革大綱において、公園樹木等の緑をとりまく現況を調査・把握し、健全な樹木の育成及び緑の質の向上を目的とした計画的・効率的な維持管理の考え方や手法を検討し、公園樹木の取扱い方針を策定しました。今後は方針に基づき、個別の公園の樹木のあるべき姿に向けた具体的な計画の検討と実施が必要となっています。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>公園の緑は都市景観の向上、自然との触れ合いの効果に加え、暑さ対策においても有益であることからある程度は維持、場合によっては向上に努める必要があります。しかしながら、これまでの緑の量＝樹木の量という考えではなく、危険性がある樹木や支障がある樹木については伐採や間伐を行い、緑の量の確保や補う方法として、芝等の地被植物を植栽することも有効と考えます。</p> <p>第六次行政改革大綱において策定いたしました「公園樹木の取り扱い方針」に基づき、隣接する住宅等その公園を取り巻く周辺環境や、公園施設に合わせた樹種や配置の見直し、樹高の低減による樹木の再生を検討し、計画的に実施していくことで、「適切な範囲内での緑被率の確保」と、「再配置や再生後の樹木の維持管理コストの縮減」の両立を目指します。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

125

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
緑のまち推進課	公園の管理運営計画の見直し

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市の都市公園は昭和40年代以降の区画整理事業等により整備されており、開設から30～40年程経過した公園が多数を占めているため、施設の老朽化による維持管理コストの増加が課題となっている。</p> <p>現在、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を進めているが、膨大な数の公園施設を計画通りに維持、更新していくことは、現在の財政状況を踏まえると非常に困難な状況であるため、計画の見直しが必要となっている。また、過去の公園整備では人口増加の時代に対応するために多くの公園が画一的又は同様の機能を有するものとなっていることから、現在おかれている人口減少、少子高齢化や市民ニーズの多様化・高度化などの社会情勢の変化に対応できておらず、公園に求められる「機能や役割」と公園の「管理運営の実態」との乖離が顕著なものとなっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>老朽化した施設の長寿命化計画を見直すとともに、画一的な公園を多様化する市民ニーズに対応させるために必要な利活用方法の検討や公園機能の再編を進めていくこともあわせて求められている。そのためには、時代の変化や市民にニーズに対応できる将来の公園のあるべき姿を検討した上で計画を見直し、持続可能な公園の維持管理・運営を目指す必要がある。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
準備	検討	実施	継続実施	完了

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

126

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
スポーツ振興課	市民ニーズに応えるべき施設改修

2. 計画の概要

現状と課題
市内スポーツ施設の多くは建設から30年以上が経過しており、老朽化の進む各施設においては、多様化する市民ニーズへの対応や競技力向上に繋がる環境整備にいたらないため、市民満足度は厳しい状況となっている。こうした多様化する市民ニーズに応えるためには、各施設を計画的に改修等を進め、利便性向上を図る必要がある。
計画の内容と目指す姿
市民ニーズを踏まえた施設整備を進めることにより、利用者へ多くの利益をもたらすものと考えられる。 このため、利便性向上に繋がる計画的な施設整備改修等を進めるとともに、受益者負担の観点から、利用者への適正な負担として施設使用料の見直しを図る。 設備の改修で施設に付加価値が付き、利便性の向上がなされた場合の料金設定に取り組む。 〔施設使用料の設定が必要となる改修工事〕 ①R3年度：ダノン城沼アリーナ1階4室空調改修工事 ②R5年度：城沼庭球場屋外LED照明改修工事

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①準備	完了	実施	実施	実施
②準備	準備	準備	完了	実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度以降の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ③歳入の確保

131

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ガバメントクラウドファンディングの実施

2. 計画の概要

現状と課題
現在、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディング(以下、GCF)の取組が全国の自治体で行われている。 財源確保が難しい中でGCFは効果的な取組であると思われるが、本市においては行われていない状況である。
計画の内容と目指す姿
GCFの効果を十分に検証したうえで、関係課との協議を進めながら実施を目指す。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ③歳入の確保

132

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ネーミングライツの推進

2. 計画の概要

現状と課題
人口減少や少子高齢化の進行に伴い、市の歳入の増加が見込めない現状となっていることから、自主財源の確保が求められている。そこで、本市では「ネーミングライツ」を2施設(2019年時点)に導入している状況である。
計画の内容と目指す姿
導入施設を増やすとともに、募集方法の工夫やスポンサー企業との協力による新たな地域活性化の在り方の検討など、ネーミングライツがより一層効果的になるような取組みを実施する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ③歳入の確保

133

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課	自動販売機設置による市有財産の有効活用

2. 計画の概要

現状と課題
行政財産への自動販売機設置については、地方自治法の一部改正によって、貸付範囲が拡大されたことから、積極的に運用を図っている自治体が増えている。本市においても、市有財産のうち庁舎その他の建物及びそれらの敷地の余裕がある部分を貸し付け、自動販売機を設置させるための入札の実施をスタートした。
計画の内容と目指す姿
施設の利用状況等を踏まえながら、自動販売機の設置による市有財産の有効活用を推進し、歳入の確保及び市民サービスの向上を図る。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ③歳入の確保

134

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課、産業政策課	未活用財産の有効活用

2. 計画の概要

現状と課題
現下の厳しい財政状況の中、未利用地・低利用地の管理費は確実に削減すべき費用であり、建物の低利用スペースは転用・貸付等により有効に活用し、新たな自主財源を確保しなければならない。
計画の内容と目指す姿
積極的に未利用・低利用財産を選定し、売却、貸付等による活用を推進することで新たな自主財源を確保する。 資産活用に当たっては、PPP/PFI等による公民連携を推進し、また、国・県所有の資産を含めた活用を検討しエリアマネジメントを推進する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ④窓口業務の効率化

241

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課、関係課	窓口サービスの改善・改革

2. 計画の概要

現状と課題
「市民の目線に立った、より便利で使いやすい市役所をつくるため」、「職員数の増加が見込めない中、多様化・複雑化する市民ニーズに適切に対応するため」窓口サービスの改善・改革は必要なものだと考えられる。
計画の内容と目指す姿
窓口の混雑を緩和し、効率的な窓口サービスを提供するため、ワンストップ窓口設置の研究やマイナンバーカード活用によるコンビニエンスストアでの住民票、税証明書発行など、様々な手法を検討し、窓口業務を改善する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	検討	検討	準備	実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑤人材投資と組織力の向上

251

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	効率的かつ機能的な組織・機構づくり

2. 計画の概要

現状と課題
社会状況の複雑な変化や、多様化・高度化する市民ニーズを踏まえ、本市が目指すべき将来像を実現していくために、効率的・効果的な組織・機構づくりが求められている。
計画の内容と目指す姿
多様化・高度化する住民ニーズに対応し、総合計画の政策目的の達成及び重要施策の強力な推進を図るために最善の組織をつくる。また、限られた人員や財源のなかで、類似した業務・目的を持つ部署等の整理を進め、効率的かつ機能的な組織づくりを進める。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑤人材投資と組織力の向上

252

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	職員提案制度の促進

2. 計画の概要

現状と課題
本市の職員提案制度は昭和52年から始まっているが、近年、提案件数も少なく、提案があったとしてもそれが実施まで至っていない状況である。市民サービスの向上を図っていくためには、職員が創意工夫を行い、前向きに改革改善に取り組んでいくことが重要であると考えられる。
計画の内容と目指す姿
職員提案制度を活性化させることで職員の改善意欲の増進や自己能力の開発及び職員相互の啓発を図ることを目的とする。内容としては、職員提案規程の改正や提案発表の場の規模の拡大などが考えられるが、他市の取組を参考にし、可能な取組から順次実施していく。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑤人材投資と組織力の向上

253

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
人事課	多様な人材の確保と研修の充実

2. 計画の概要

現状と課題
人口減少に伴う労働力不足により、人材の確保は今後一層厳しくなる中、少数精鋭の組織運営を行っていくために、有能な人材を確保し、継続的、効果的な研修により、職員の資質向上を図る。
計画の内容と目指す姿
新卒採用に加え、経験者採用や新たな人材の発掘方法など、多様な採用制度の導入を検討し、有能な人材を確保する。 階層別研修や専門研修など、研修の機会、内容を充実し、担当業務の修得だけでなく、中長期的な視点を持った人材を育成する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑤人材投資と組織力の向上

254

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
人事課	働き方改革の推進

2. 計画の概要

現状と課題
働き方改革は、ワークライフバランスを実現することにより、職員がその能力を最大限発揮し、生産性の高い行政運営を行うために取り組むべき課題となっている。
計画の内容と目指す姿
職や業務の見直し、効率化によって職場の生産性を高め、長時間労働の是正や年次有給休暇等の取得を促進し、ワークライフバランスを実現する。 ・ワークライフバランスの実現に向けた職員の意識改革 ・「時間外勤務縮減の一層の推進にかかる指針」に基づく具体的な行動の推進 ・男女ともに活躍できる職場環境の整備 管理監督職への女性登用・男性職員の育児休業取得促進 時差出勤や育児休業、介護休暇等、働き方の多様化への対応 有給休暇の取得促進

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑥ICT化の推進

261

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課、関係課	ICTによる業務の省力化・効率化

2. 計画の概要

現状と課題
権限委譲や職員数の増加が見込めない中、限られた人数で今まで以上の業務が求められる一方で、働き方改革による長時間労働の是正も課題となっており、さらなる省力化・事務の効率化が必要となっています。
計画の内容と目指す姿
ICTの利用による省力化を実現するため、RPAやAI等の導入による効率化を検討し、関係課と協力の上進めることで効果的な利用を模索し、業務での活用を目指す。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	検討	準備	実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑥ICT化の推進

262

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ネットワーク更新計画の策定

2. 計画の概要

現状と課題
ICTが必要不可欠となり、庁内外との連携も重要度も増す中、市内に敷設してきた光ケーブルが15年以上経過し老朽化してきているため、今後通信に不具合が出ることによる自治体運営への重大な影響が懸念される。
計画の内容と目指す姿
現在自庁で保有している光ケーブルのあり方を見直し、新たにネットワーク更新方法を検討し、コストとメンテナンスにかけている手間を削減できる、安定したネットワーク構築手段の計画を策定する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	検討	検討	準備	準備

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑥ICT化の推進

263

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
行政課	電子決裁システムの導入

2. 計画の概要

現状と課題
<p>○多様化する行政サービスのニーズによる様々な新規事業の立上げ等に伴う事務量の増加 →多様化、複雑化する事務を効率的に処理していかなければならない。</p> <p>○行政が保有する公文書に対する適正管理が求められている。 →情報公開制度の適切な運用及び更なる充実を図る。</p> <p>○結果(処分)に対する説明責任及び組織の意思決定のスピードが求められている。 →合議、決裁事務の迅速化及び効率化を図る。</p> <p>○増え続ける永年保存文書等を適切に管理、保管しなければならない。 →電子データの活用及びペーパーレス化を図る。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>事務処理の効率化、保有する行政文書の適正管理、組織としての意思決定の迅速化及び紙の節減等ペーパーレス化を図るため、電子決裁の導入を図る。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	準備	実施	継続実施	継続実施

4. 令和 年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
財政効果額	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。